

2007 年度

<p>科目名</p> <p style="text-align: center;">社会システム論 A</p>	<p>対象学科・学年</p> <p>文学部コミ3回生 人間社3回生</p>	<p>担当者</p> <p style="text-align: center;">次田 健作</p>
<p>授業テーマ</p> <p>日常生活から政治・経済・文化を動かすシステムについて考える</p>		
<p>授業の概要と目標</p> <p>社会はいくつものシステムの複雑な相互作用の中で動いている。しかし、20世紀型のシステムは、すでにあちこちで破綻を見せはじめている。この講義では、受講者相互の意見を持ち寄って、21世紀の新しい世の中の仕組み（システム）を創っていくための基礎的な議論をしていきたい。</p>		
<p>評価方法</p> <p>授業とそこでの議論に参加することが第一の要件。その時々テーマでレポートを提出。</p>		
<p>テキスト</p> <p>毎回の授業で、その日のテーマに関わるテキストを用意する。</p>	<p>著者</p>	<p>出版社</p>
<p>参考書</p> <p>適宜指示する。</p>	<p>著者</p>	<p>出版社</p>
<p>授業スケジュール・内容</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 講義を始めるにあたって</li> <li>2) 「正義」と「政治」のシステム① — 「生類憐れみの令」 —</li> <li>3) 「正義」と「政治」のシステム② — アメリカ禁酒法 —</li> <li>4) 迷信と社会システム—丙午迷信から—</li> <li>5) 「労働」って何?—「働く」ことと「自分」</li> <li>6) 「労働」って何?—働くことの意味—</li> <li>7) ニートと若者の労働について考える</li> <li>8) 「労働」の現場から 事例研究 ①</li> <li>9) 「労働」の現場から 事例研究 ②</li> <li>10) 「労働」の現場から 事例研究 ③</li> <li>11) 「時間」というシステムについて考える。①</li> <li>12) 「時間」というシステムについて考える。②</li> <li>13) 「所有」というシステム ①</li> <li>14) 「所有」というシステム ②</li> <li>15) 「所有」というシステム ③</li> </ol>		